

ダイオキシンの影響

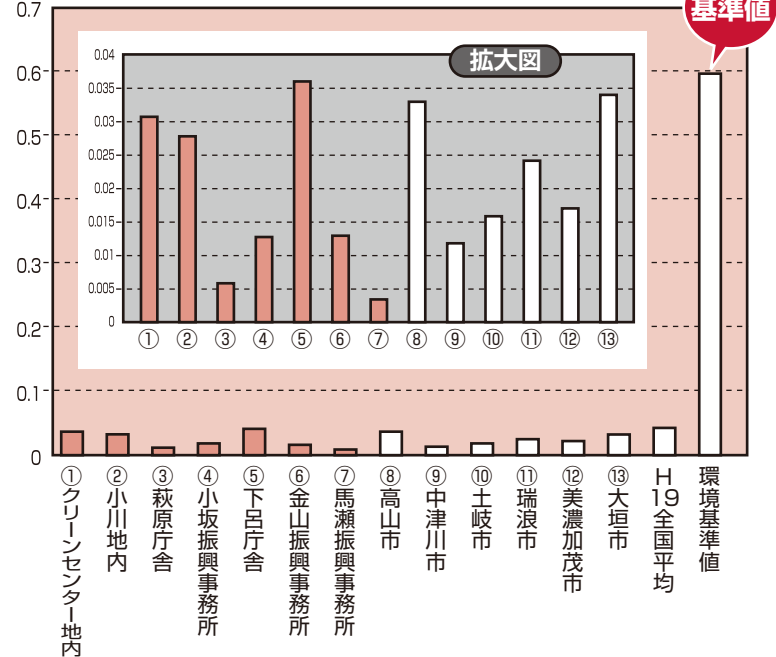
ダイオキシンはごみの焼却等の燃焼時や農薬・繊維などの化学合成の際に副生成物として、大気中や土壌、河川などに放出されます。食物連鎖を通じて生物に取り込まれ蓄積されます。人への影響としては、発がん促進作用、免疫力の低下、糖・脂肪代謝異常などがあります。

日本の平均的な環境の中での濃度は、大気中では約0.23pg-TEQ/m³、土壌中では約6.5pg-TEQ/gとされ、通常の環境汚染レベルではリスクはほとんどないとされています。

調査(右図)では、一般的な環境では環境基準値を大きく下回っています。またクリーンセンター周辺は市役所周辺よりも低い数値となっています。

ダイオキシン類モニタリング調査(20~22年中調査)

(単位: pg-TEQ/m³)



※他市の数値は、岐阜県HPより引用

ごみ処理は私たちの責任です

ごみの排出量は平成15年度をピークに減少傾向にあります。これは人口減少や経済不況が大きな要因と考えられます。

ごみ袋は1枚65円ですが、ごみ処理費用(平成20年度)を実際の排出量で計算すると1袋あたり369円となり、その差額はすべて税金で補われていることとなります。

市内で出るごみは、私たちの責任で処理する必要があり、安全なごみ処理コストは決して安くはありません。

お気軽にお問い合わせください

環境部環境施設課 ☎ 26-3397

○建設候補地

新クリーンセンター建設候補地を募集をしています。

○出前講座

ごみの収集・リサイクル・施設見学などの講座を実施しています。



⑤ 乾電池



1枚65円
持込の場合、50kgまで157円

*充電電池・ボタン電池を含む。

⑥ ペットボトル



1枚65円
持込の場合、50kgまで157円

*リサイクルマークのついたもの。水洗いする。キャップをはずす。汚れ、異物混入、つぶれたものは①へ。

⑦ 粗大ごみ



小型家電・日用品混合袋1枚1600円
エフ1枚800円(可燃性粗大×1枚、不燃性粗大×2枚)

*1人で持ち運べる大きさとし、重さのもの。

⑧ 持ち込みのごみ

【特定家電】

テレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンなどの特定家電は処理方法が定められています。

【大きいごみ・重いごみ】

直接持ち込んでください。燃えるごみは大きさにより1個630円~。燃えないもの・混合物は1個1260円~。

【事業系ごみ】

事業活動に伴って発生したごみは、自社運搬または、市の許可事業者へ依頼してください。

みんなで考えよう ごみの処理

私たちが生活する上で必ず出るごみ。
今月はごみ処理について考えます。

下呂市クリーンセンターでは、①燃えるごみ、②空き缶・金物類、③ガラス・陶器類、④飲料用あきびん、⑤乾電池、⑥ペットボトル、⑦粗大ごみ、⑧持ち込みのごみなどの処理を行っています。取り扱い量の9割以上は「燃えるごみ」で、施設の大半がごみを焼却するための施設です。

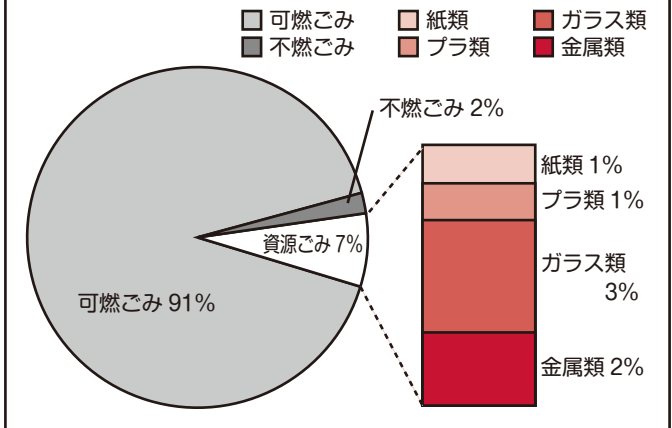
焼却施設

センターに運び入れる燃えるごみは、一度ごみピットと呼ばれる巨大なごみ箱に集められ、少しずつ焼却炉で燃やされます。焼却炉では800℃以上の高温でごみを燃焼させ、ダイオキシン類の発生を抑えながら、排ガスの処理やダイオキシン類の分解・無害化する公害防止装置などで安全に処理されます。

耐用年数は 20 年程度

現在の施設は、平成5年に旧益田郡5町村のごみ処理施設として約30億円かけて建設しました。こうした施設は一般的に耐用年数が20年程度といわれ、現在16年を経過する中で、新たな施設の建設が必要となっています。

平成21年度 ごみの取り扱い量の内訳



ごみ処理に必要な費用

- ごみの回収・運搬費
- 施設の建設や維持費
- 焼却後に出る灰などの処分費



膨らむ修繕費

施設の老朽化が進むと修繕など維持費が膨らんでいきます。過去5年間の修繕費は約8億4千万円です。

下呂市のごみ分別

①燃えるごみ



1枚65円（小袋45円）
持込の場合、50kgまで157円

*生ごみは水切りして。新聞・雑誌・ダンボールは、専用シールを使用。

②空き缶・金物類



1枚65円
持込の場合、50kgまで157円

*刃物等危険なものは缶に入れてたり布に包んで。スプレー缶は使い切って穴を開けてから。

③ガラス・陶器類 われもの



1枚65円
持込の場合、50kgまで157円

*割れたガラスなどで袋が破れる場合は段ボール等で保護。飲料用あきびんは④へ。

④飲料用あきびん



1枚65円
持込の場合、50kgまで157円

*飲料・食品・調味料のびん。水洗いする。キャップをはずす。割れたビンは③へ。